

事業群評価調査 (平成29年度実施)

基本戦略名	5 次代を担う子どもを育む	事業群主管所属	事業群②:教育庁義務教育課、事業群③:教育庁高校教育課
施策名	(4) 我が国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成	課(室)長名	事業群②:木村 国広、事業群③:林田 和喜
事業群名	② 豊かな道徳性を育む道徳教育の推進	事業群関係課(室)	
事業群名	③ 社会の様々な課題を主体的に判断できる力や政治に参画する態度を育てる教育の推進		

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)	
②道徳の教科化への円滑な対応を図るとともに、未来を担う子どもたちの豊かな心を育むため、いのちを大切にすることや思いやりの心を持つ、規範意識の高い児童生徒の育成を学校・家庭・地域が一体となって推進します。 ③各種機関と連携し、子どもたちが主体的に社会にかかわることで、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、行動していく力を培う教育を推進します。						i) 道徳教育の推進(事業群②) ii) 主権者としての自覚や社会参画の力を育む教育の充実(事業群③)	
指 標		最終目標 (H32)	目標 (H28)	実績 (H28)	達成率	(進捗状況の分析)	
事業群	②「長崎っ子の心を見つめる教育週間」における道徳教育に関する教育活動の公開率	100%維持	100%	100%	100%	②小・中学校においては、全ての学級において道徳の時間の授業公開が実施できた。道徳の授業公開については、新学習指導要領でも積極的に取り組むよう述べられている。授業公開を全国に先駆けた取組として実施している本県においては、今後、教科化を意識して質の高い授業公開していくことが必要である。また、高等学校においても全ての学校が、道徳教育に関する授業等を公開し、加えて、全ての特別支援学校において、心の教育にかかわる教育活動を公開することができた。今後は、平成28年度取組を参考としながら、各学校の創意を生かした取組が展開されるようにしていくことが必要である。(H25:100%、H26:100%、H27:100%) ③公民科の授業を通して、民主主義の意義や政治機構・選挙制度等について理解を深めさせるとともに、国内外の政治・経済の情勢や国際問題などに関心を持たせることに力を入れている。特に選挙制度については、各学校で選挙管理委員会による講話を実施し、理解を深めさせている。また、総合的な学習の時間では、探究的な地域課題研究に取り組ませたりして、主体的に社会参画を目指す生徒の育成を図っている。このように、政治的教養を育む教育を推進しており、「あなたは政治や選挙に関心があり、自ら社会への参画を目指していますか」とのアンケートに対し、「大いにはあてはまる」「おおむねあてはまる」との回答が合わせて51.3%であり目標を達成した。今後も継続的な取組が必要である。	
	③政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指す生徒の割合	60%	45%	51.3%	114%		
その他							

2. 28年度取組実績 (H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					28年度事業の成果等	中核事業
			H28実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
			H29計画	一般財源	人件費(参考)					H29目標	—	—		
取組項目 i	道徳教育の抜本的改善・充実事業	H27-	1,557	0	1,608	公立小・中学校の教職員等	学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、道徳教育研究推進校の指定や規範意識育成会議を開催し、子どもたちの道徳性を育むための研究を行った。	活動指標	道徳教育パワーアップ協議会の参加者数(人)	105	157	149%	道徳教育の抜本的改善・充実に関して文部科学省が公表する方針等を道徳教育推進教師等に周知することができた。	○
										105	—	—		
	義務教育課	H16-	3,341	0	1,615	高校生	実社会の第一線で活躍している本県出身者、又は本県にゆかりのある人材等を高等学校へ外部講師として派遣して講演を行い、21世紀をたくましく生き抜く力を身に付けさせるとともに、人生観、倫理観、職業観を醸成した。	成果指標	道徳教育パワーアップ協議会により得られた事業効果(点)	3.6	3.6	100%	学校では接することの少ない実体験に基づいた失敗談・成功談などを生徒が聞くことにより、生徒自身が人生観や職業観を形成する契機となった。	
										3.7	—	—		
	「心に響く人生の達人セミナー」事業		2,132	2,132	804			活動指標	全県立高校64校(全日54、定時10)実施(%)	100	100	100%		
										100	—	—		
	高校教育課		2,300	1,150	1,615			成果指標	講演実施校における生徒自身が人生観や職業観を深めることができた生徒の割合(%)	95	93	97%		
										95	—	—		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 道徳教育の推進 (事業群②)	道徳研究指定校の指定や規範意識育成会議の開催により、調査研究を実施し、その成果の普及を図ることができた。また、マナー向上を目指して取り組んでいる「長崎っ子さわやか運動」の支援を行うことで、小中高12年間を見通した心豊かな長崎っ子の育成を推進することができた。 小学校は平成30年度から、中学校は平成31年度からの道徳の教科化を見据え、本事業における調査研究や成果の普及等、道徳教育の質の向上を図ることにより、教科化へのスムーズな移行につなげる。 また、「心に響く人生の達人セミナー」事業については、さまざまな経験を持つ、講師の実体験に基づく講話等を聴くことにより、生き方やいのちの大切さ、職業観の醸成が図られている。社会人として自立していく準備段階の時期に、実社会で生き抜く様々な職種の「人生の先輩方」の講話を聴くことにより、個人の倫理観や道徳性を高めることができおり内容は充足しているが、講師の講演内容と生徒自身が望む講演内容のミスマッチにより生徒自身が「人生観や職業観を深めることができた」と答えた割合が95%に至っていない。また、既存の講師リスト登録者の高齢化が進み、辞退者が出てきているので、今後も講師の新規開拓を進めたい。
ii) 主権者としての自覚や社会参画の力を育む教育の充実 (事業群③)	社会の様々な課題を主体的に判断できる力や政治に参画する態度を育てる教育の推進については、「政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指す生徒の割合」の平成28年実績が51.3%であった。今後は実績値の推移を見守りながら、最終目標である60.0% (平成32年) を目指して現在の取組みの充実を図りたい。

4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「―」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業継続の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	「心に響く人生の達人」セミナー	平成29年度においては、各学校で独自に依頼した講師について、次年度からどの学校からも依頼できるように、名簿への登録を依頼したことにより、新たに4名に名簿登録していただいた。また、新たに7名の女性に名簿登録していただいた。	―	29年度は、新たに11名の講師が名簿に登録された。今年度も、各学校で独自に依頼した講師について、次年度からどの学校からも依頼できるように名簿への登録を依頼するなどして、新規開拓を図りたい。 本事業の講師は「本県にゆかりのある人材」を選定しており、地方創生のための「ふるさと教育」にもつながる事業であることから、講師リストの充実により、内容の深化を図っていく。	現状維持